

商工青年部から受験生へエール



11月6日、商工会青年部の福島恵吾部長他3名が妹背牛中学校を訪れ、受験合格祈願の絵馬、お札、お守り、掛け襟を中学3年生に手渡しました。この絵馬などは商工会青年部が今年の道外研修で九州へ行った際、福岡の太宰府天満宮を訪れた時に購入したもの。受け取った妹背牛中学校の上杉遥士くん、中野 柁斗くんは感謝を述べるとともに、控える受験に意欲を燃やしていました。

地域全体で介護について考える



10月20日、わかち愛もせうしひろばで「北空知地域住民フォーラム in 妹背牛」が行われました。講師として招かれたのは北星学園大学社会福祉学部教授の杉岡直人さん。講演では道内で行われている福祉関係の活動やわかち愛もせうしの活動に触れながら地域コミュニティの重要性などについて話されました。最後には意見交換会が行われ、在宅医療や介護に向けての活発な意見や質問で会場を盛り上げていました。



妹背牛町総合文化祭



11月1日～4日妹背牛町民会館で「第55回妹背牛町総合文化祭」が行われました。1日～3日には写真、陶芸、絵画、ペン習字の作品展示発表会、3日は茶会が行われ、作品の鑑賞や茶道を楽しみに訪れた町民で賑わいをみせました。4日には芸能発表会が行われ、子どもからお年寄りまで、日頃の練習の成果を存分に発揮して、素晴らしい発表をみせてくれました。

元気いっぱいの歌声響く



妹背牛小学校で10月30日、「小中合同合唱交流会」が行われ、小学生からは元気いっぱいの歌声が、中学生からはきれいな歌声が披露されました。最初の発表は小学1、2年生。踊りも交えて楽しく歌い会場を盛り上げました。中学3年生の発表では、合唱中に手を叩くパフォーマンスが行われると、それにあわせて大きな手拍子が拡がり会場が一体となった発表となりました。最後には小中合同による「さんぽ」の合唱で締めくくりました。

妹背牛町からも ファイターズに熱いエール



10月29日、わかち愛もせうしひろばで日本ハムファイターズ妹背牛後援会（高橋久夫会長）の設立総会が開かれました。北海道を拠点に活躍している同球団を「わが町からも応援しよう」と、有志が呼びかけたところ、100名以上もの申し込みがあり、正式な後援会の設立となったものです。総会では、活動内容について話し合わせ、札幌ドームへの応援ツアーや、わかち愛ひろばでの野球中継観戦などを行っていく予定です。この日は、ファイターズのユニフォームを着た田中町長も駆けつけ、熱烈ファンと共に熱いエールを送りました。

軽スポーツで交流深める



10月27日、妹背牛町総合体育館で福祉レクリエーション大会が行われました。この日参加したのは町内の高齢者や子どもたち合わせて72名。怪我をしないようにしっかり丁寧に準備体操をした後競技が開始。「相手はどなた」という、引いたカードがペアになっている人をさがし、手を繋いで一緒にゴールする競技では、元気いっぱいの小学生とペアになったお年寄りが懸命にそして楽しそうに走っている様子も見られました。